

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成27年12月25日 NO.20

明日から冬休み！安全・無事故で！

昨年の2学期終業式に、妖怪ウオッチのジバニャンが特別ゲストとして国立七小に来てくれたのを覚えていますか。そこで、冬休みの生活について、ジバニャンより「冬休みは、健康で元気・無事故・お手伝い・交通ルールを守ること・規則正しい生活をする事」などのお話がありました。

今年はどうな企画にしようか？どうすれば子供達がお話をしっかり聞き、安全な冬休みにできるか？などいろいろと考えました。そこで、今回は校長先生から全校児童に向けて一方的にお話しするのではなく、子供達自身の声を紹介し、一緒に冬休みについて考えてもらうことにしました。

6年生に『冬休みをどのように過ごすか』を学級会で話し合ってもらい、クラスごとに趣向を凝らし、パフォーマンス豊かに発表してもらいました。さて、どんなお話があったのでしょうか。詳しくはお子様にお聞きください。

学芸会や七小わくわく発表会があり、行事を通し一人一人が大成長した二学期。また、日常の学習でも意欲的に取り組み、学校生活を楽しんだ子供達。平成28年もみんなが日々明るく健康で、『かしこく・やさしく・げんきよく』大きく成長してほしいと心より願っています。よいお年をお迎え下さい。



自主公開授業が花盛り！

国立七小では年間教育計画に従い、学校公開の日時が設定されています。これは、国立市教育委員会の規則により回数が定められているものです。各担任・専科の先生により、公開日には様々な工夫と準備がなされた授業が行われています。これらの授業は『トップダウン』として実施されているものですが、最近の国立七小では、先生達が自ら保護者や地域の方々に是非参観してもらいたいという自主公開授業が花盛りのようです。このような授業の形は、校長が提案したものではなく、先生達自身がやりたくて見せたくて企画しているものです。このような『ボトムアップ』型の授業公開は、今後の国立七小の特色ある教育活動の一つにもなることでしょう。先生方の意欲を、これからも応援していきたいと思えます。

